

国際シンポジウム 「東西文化の融合」



2022年10月15日(土)

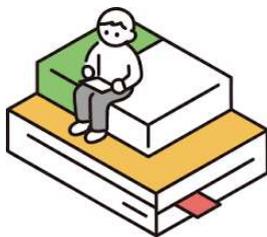
9:20-17:30(オンライン開催)

zoomURL

<https://zoom.us/j/97273721167?pwd=bFY5UTRMcVBPckUxZUIJbi9hOUtZdz09>

ID:972 7372 1167

パスコード 791605



どなたでも自由に参加できます

大東文化大学外国語学研究科日本語文化専攻主催・大東文化大学外国語学会日本語部会共催

9:20-9:25 開会の辞：田口悦男

午前の部：大学院生(博士課程)研究発表

9:30-10:45 ルーム1(司会：上村圭介)

①ホーラーヌパーブ・シーズダー「シテイル形に意味的に対応するラオス語の助動詞」

②濱岡佑帆「小説におけるオネエ言葉と女性言葉の比較」

③趙丹楠「中国人日本語学習者の依頼表現の負担度における母語の転移」

9:30-11:10 ルーム2(司会：藏中しのぶ)

①モック・ピセイ「『度十公園林』の語彙・漢字・文法のレベル」

②張艶軍「『訓蒙図彙』元禄版本の圈点」

③オルン・チャンボン「『オツベルと象』の語彙・漢字・文法のレベル」

④賀耀明「『東雅』の出典研究」

午後の部：シンポジウム「対照アスペクト論に向けて—アジアの諸言語のアスペクト—」(司会：須田義治)

12:00-13:10

①鈴木泰(東京大学名誉教授)「古代日本語における自己性と証拠性」

②張麟声(中国アモイ大学嘉庚学院)

「アスペクトのタイポロジー—進行相マーカーの語彙的ソースの研究を中心に—」

13:20-15:00

③浜之上幸(神田外語大学)

「現代朝鮮語のアスペクト—体系と語彙クラスを中心に—」

④松岡雄太(関西大学)

「モンゴル語のアスペクト体系と補助動詞の文法化」

⑤田中寛(大東文化大学名誉教授)

「タイ語のアスペクトにみる事態・事象把握の諸相—日タイ対照研究の立場から」

⑥王学群(元東洋大学)

「中国語時間構造の研究—体系的な視野から」

15:10-16:50

⑦阿出川修嘉(上智大学)

「現代ロシア語のアスペクト：意味記述の変遷を振り返る」

⑧狩俣繁久(琉球大学戦略的研究センター)・島袋幸子(琉球大学戦略的研究センター)

「琉球語今帰仁村謝名方言のシテアル文のモダリティー」

⑨副島健作(法政大学)

「現代日本語のアスペクト—事象の事態把握を中心に—」

⑩福嶋健伸(実践女子大学)

「日本語アスペクトの体系の変遷が分かると高校で習った古典文法がダメな理由がよく分かる」

16:55-17:25《質疑応答》

17:25-17:30 閉会の辞：福盛貴弘